



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月1日

上場会社名 みらかホールディングス株式会社
 コード番号 4544 URL <https://www.miraca.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 竹内 成和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 兼 CFO (氏名) 北村 直樹

TEL 03-5909-3337

四半期報告書提出予定日 2018年11月7日

配当支払開始予定日

2018年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	89,664	13.7	7,023	45.6	5,832	52.1	4,473	
2018年3月期第2四半期	103,905	1.2	12,909	12.3	12,175	8.1	5,071	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 6,582百万円 (%) 2018年3月期第2四半期 9,803百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	78.35	78.32
2018年3月期第2四半期	88.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	197,979	116,158	58.6	2,030.72
2018年3月期	176,068	113,225	64.2	1,979.78

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 115,967百万円 2018年3月期 113,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		65.00		65.00	130.00
2019年3月期		65.00			
2019年3月期(予想)				65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	2.8	19,000	7.7	16,000	3.4	10,500		183.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) SRL(Hong Kong) Limited 、 除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	57,359,735 株	2018年3月期	57,334,183 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	253,319 株	2018年3月期	253,080 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	57,091,736 株	2018年3月期2Q	57,055,731 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は2018年11月1日(木)に機関投資家、アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローの状況

①経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、引き続き米中貿易摩擦による影響が懸念されるものの、先進国・新興国ともに全体として堅調な成長が見られました。

わが国においては、自然災害による一時的な地域経済への影響が一部見られるものの、底堅い内外需と積極的な設備投資を背景に企業収益は堅調に推移し、景気の回復が続いております。

臨床検査業界におきましては、引き続き価格下落圧力及び同業他社との競争激化を反映して、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループといたしましてはさらなる成長を遂げるための経営諸施策に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果といたしまして、当第2四半期連結累計期間の売上高は89,664百万円(前年同四半期比13.7%減)となりました。国内受託臨床検査事業の売上が伸長したものの、米国で病理検査事業を営むMiraca Life Sciences, Inc. (以下、「MLS」という)が2017年11月に連結除外となったことに加え、臨床検査薬事業及びヘルスケア関連事業の減収が国内受託臨床検査事業の増収を上回ったことにより、結果として減収となりました。利益面では、各事業における将来の成長のための先行費用が発生したことなどにより、営業利益は7,023百万円(前年同四半期比45.6%減)、経常利益は5,832百万円(前年同四半期比52.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,473百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失5,071百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

イ. 受託臨床検査事業

国内事業で新規顧客を獲得したことなどにより増収となったものの、MLSが2017年11月に連結除外となったことにより減収となりました。利益面では、国内事業で成長のための先行費用が生じたことなどにより減益となりました。これらの結果、売上高は53,756百万円(前年同四半期比19.7%減)、営業利益は2,055百万円(前年同四半期比64.8%減)となりました。

ロ. 臨床検査薬事業

海外子会社における前第2四半期連結累計期間の一過性売上の反動減を主要因として減収となりました。利益面では、減収に伴う減益に加え、研究開発費等将来の成長のための先行費用が生じたことから減益となりました。これらの結果、売上高は22,303百万円(前年同四半期比2.2%減)、営業利益は4,914百万円(前年同四半期比21.1%減)となりました。

ハ. ヘルスケア関連事業

ヘルスケア関連事業の売上高は、治験事業における売上発現の遅延を主要因として減収となったことから、13,604百万円(前年同四半期比4.0%減)、営業利益は、滅菌事業における基盤強化費用などにより、904百万円(前年同四半期比40.9%減)となりました。

②財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21,911百万円増加し、197,979百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加18,047百万円、工具、器具及び備品(純額)の増加5,152百万円、建物及び構築物(純額)の増加3,176百万円、ソフトウェアの増加1,664百万円、土地の増加923百万円及び仕掛品の増加692百万円があった一方、有形固定資産その他(純額)の減少3,754百万円、投資その他の資産その他の減少2,319百万円及び流動資産その他の減少2,082百万円があったためであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ18,978百万円増加し、81,821百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の増加16,513百万円、短期借入金の増加10,000百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加4,190百万円及び電子記録債務の増加1,423百万円があった一方、未払金の減少7,499百万円、補償損失引当金の減少2,704百万円、固定負債その他の減少2,047百万円及び支払手形及び買掛金の減少1,424百万円があったためであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,932百万円増加し、116,158百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益4,473百万円及び為替換算調整勘定の増加1,983百万円があった一方、配当金の支払3,710百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ5.6%減少し、58.6%となりました。

③キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ18,047百万円増加し、38,492百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は10,818百万円（前年同四半期10,358百万円の獲得）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益5,767百万円、減価償却費4,023百万円、法人税等の還付額1,744百万円及び持分法による投資損益1,172百万円があった一方、その他流動資産増加額803百万円、たな卸資産の増加額786百万円及び補償損失引当金戻入額656百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は19,111百万円（前年同四半期7,069百万円の使用）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出15,811百万円、無形固定資産の取得による支出2,595百万円及び貸付けによる支出773百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は26,080百万円（前年同四半期4,563百万円の使用）となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入21,662百万円及び短期借入金の純増加額10,000百万円があった一方、配当金の支払額3,706百万円、長期借入金の返済による支出999百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出876百万円があったためであります。

(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

2019年3月期の連結業績予想に係る売上高は、国内受託臨床検査事業の売上増、臨床検査薬事業におけるルミパルス製品及び海外子会社の販売増を見込んでいるものの、MLSが2017年11月に連結除外となった影響が通期で発生するため、対前年同期比減収となる見通しであります。

利益面では、国内受託臨床検査事業の増収に伴う利益増を見込むとともに、通期でMLSの営業損失の影響がなくなることから、営業利益は対前年同期比増益となる見通しである一方、海外持分法適用会社の業績に鑑み、経常利益は対前年同期比減益となる見通しであります。また、親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、前連結会計年度に一過性の特別損失を計上したことから、増益となる見通しであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,455	38,503
受取手形及び売掛金	31,896	32,570
商品及び製品	4,881	5,191
仕掛品	4,573	5,265
原材料及び貯蔵品	5,087	5,076
その他	8,600	6,517
貸倒引当金	△160	△134
流動資産合計	75,334	92,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,326	16,502
工具、器具及び備品（純額）	12,579	17,732
土地	9,710	10,633
その他（純額）	13,191	9,436
有形固定資産合計	48,807	54,304
無形固定資産		
のれん	2,192	1,815
顧客関連無形資産	1,249	1,219
ソフトウェア	2,641	4,306
その他	5,284	5,432
無形固定資産合計	11,368	12,773
投資その他の資産		
投資有価証券	14,274	13,944
その他	26,306	23,987
貸倒引当金	△22	△20
投資その他の資産合計	40,558	37,910
固定資産合計	100,733	104,988
資産合計	176,068	197,979

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,368	7,944
電子記録債務	1,194	2,617
短期借入金	-	10,000
1年内返済予定の長期借入金	1,999	6,190
未払金	14,834	7,335
未払法人税等	1,122	1,286
賞与引当金	5,237	4,908
その他	7,681	8,459
流動負債合計	41,439	48,742
固定負債		
長期借入金	2,299	18,813
退職給付に係る負債	3,117	3,009
資産除去債務	618	639
補償損失引当金	10,395	7,690
その他	4,972	2,924
固定負債合計	21,403	33,078
負債合計	62,842	81,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,066	9,109
資本剰余金	24,788	24,831
利益剰余金	81,637	82,400
自己株式	△1,235	△1,235
株主資本合計	114,257	115,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	310	376
為替換算調整勘定	△756	1,227
退職給付に係る調整累計額	△803	△743
その他の包括利益累計額合計	△1,248	860
新株予約権	217	191
純資産合計	113,225	116,158
負債純資産合計	176,068	197,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	103,905	89,664
売上原価	63,234	58,277
売上総利益	40,671	31,387
販売費及び一般管理費	27,761	24,363
営業利益	12,909	7,023
営業外収益		
受取利息	28	47
受取配当金	11	20
その他	159	179
営業外収益合計	199	246
営業外費用		
支払利息	210	92
持分法による投資損失	492	1,172
その他	230	172
営業外費用合計	933	1,437
経常利益	12,175	5,832
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	3	225
新株予約権戻入益	7	22
補償損失引当金戻入額	-	656
その他	59	4
特別利益合計	74	910
特別損失		
固定資産除却損	23	32
補償損失引当金繰入額	-	942
減損損失	27,900	-
その他	67	0
特別損失合計	27,990	976
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,740	5,767
法人税、住民税及び事業税	4,165	1,140
法人税等調整額	△14,834	153
法人税等合計	△10,668	1,294
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,071	4,473
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,071	4,473

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,071	4,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	65
為替換算調整勘定	△4,798	1,983
退職給付に係る調整額	74	60
その他の包括利益合計	△4,732	2,109
四半期包括利益	△9,803	6,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,803	6,582

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,740	5,767
減価償却費	4,060	4,023
減損損失	27,900	-
のれん償却額	1,261	503
補償損失引当金繰入額	-	942
補償損失引当金戻入額	-	△656
賞与引当金の増減額(△は減少)	△573	△352
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△29	△76
貸倒引当金の増減額(△は減少)	875	△30
受取利息及び受取配当金	△40	△67
支払利息	210	92
為替差損益(△は益)	△635	△141
持分法による投資損益(△は益)	492	1,172
売上債権の増減額(△は増加)	△2,775	△624
たな卸資産の増減額(△は増加)	△492	△786
仕入債務の増減額(△は減少)	△84	△52
未払消費税等の増減額(△は減少)	△204	490
その他の流動資産の増減額(△は増加)	63	△803
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△574	△509
その他	612	111
小計	14,326	9,000
利息及び配当金の受取額	16	142
利息の支払額	△210	△69
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,774	1,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,358	10,818
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,353	△15,811
無形固定資産の取得による支出	△940	△2,595
投資有価証券の売却による収入	4	872
貸付けによる支出	-	△773
事業譲受による支出	-	△517
その他	△779	△285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,069	△19,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	10,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△381	△876
長期借入れによる収入	-	21,662
長期借入金の返済による支出	△999	△999
株式の発行による収入	120	18
配当金の支払額	△3,247	△3,706
その他	△54	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,563	26,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	886	259
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△386	18,047
現金及び現金同等物の期首残高	35,547	20,444
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,160	38,492

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、SRL(Hong Kong) Limitedは増資の実施により重要性が増したため、連結の範囲に含めております。なお、SRL(Hong Kong) Limitedは当社の特定子会社に該当しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託臨床 検査事業	臨床検査 薬事業	ヘルスケア 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,924	22,809	14,171	103,905	—	103,905
セグメント間の内部売上 高又は振替高	511	1,465	25	2,002	△2,002	—
計	67,436	24,274	14,197	105,908	△2,002	103,905
セグメント利益	5,834	6,233	1,530	13,597	△688	12,909

(注) 1. セグメント利益の調整額△688百万円は、セグメント間取引消去2,492百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,180百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「受託臨床検査事業」セグメントにおいて、Miraca Life Sciences, Inc.に係るのれん、顧客関連無形資産等について、株式譲渡に係る合併契約の締結に伴い、株式売却損相当額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において27,900百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「受託臨床検査事業」セグメントにおいて、上記(固定資産に係る重要な減損損失)に記載した減損損失を計上しております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結累計期間において21,284百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託臨床 検査事業	臨床検査 薬事業	ヘルスケア 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,756	22,303	13,604	89,664	—	89,664
セグメント間の内部売上 高又は振替高	437	1,643	15	2,096	△2,096	—
計	54,194	23,946	13,620	91,761	△2,096	89,664
セグメント利益	2,055	4,914	904	7,875	△851	7,023

(注) 1. セグメント利益の調整額△851百万円は、セグメント間取引消去3,276百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,128百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2018年10月26日開催の取締役会において、東京都あきる野市における総事業規模約75,000百万円の新セントラルラボラトリー計画のうち土地及び建物約50,000百万円について、三井住友ファイナンス&リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 橘正喜）との間で、賃貸借に係る基本合意書を締結することを決議し、同日付で基本合意書を締結いたしました。